

授業科目	高齢者福祉特講 Welfare for the Aged			担当教員	坂本 雅俊		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>本講は、高齢者権利擁護の理論について理解すること、また、高齢者福祉論の歴史的・社会的事実に関する社会科学的論究について検討する。</p> <p>具体的には、高齢者権利擁護のためのソーシャルワークについて、高齢者の生活理論、高齢者のグループ活動理論、高齢者ボランティア活動理論、高齢者権利擁護活動理論、高齢者生涯教育の理論などに分類し、体系的に学修しマスターできる。</p> <p>従ってねらいは、1、高齢者の権利擁護における成年後見制度の体系理論について、2、高齢者福祉教育（生涯教育）の展開のためのソーシャルワーク・スーパービジョンについて、3、高齢者の主体的な社会参加と生きがいについて授業を受けることで、学生自らが課題を見つけて探究する素養を身に付けることである。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	高齢社会における「共生の実現」のためのリーダーとしての資質を身につけることができる。			グループディスカッション		10%	
思考・判断	高齢者の生活問題を基軸として、具体的な解決策の高度な思考・判断力を体得できる。			グループディスカッション		10%	
技能・表現	高齢社会におけるホスピタリティの実践に必要な権利擁護援助技術を体得できる。			課題発表		30%	
知識・理解	世界のなかの日本の高齢者権利擁護についての原理と知識を獲得できる。			レポート		50%	
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<p>グループディスカッションでは、発言内容を評価する。課題発表は交代で行い、発表内容と応答で評価する。レポートは講義の最終日に提出する。課題発表、グループディスカッションのフィードバックは授業内で行う。</p>							
授業の概要							
<p>講義室において講義とグループディスカッションを行う。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：指定しない。資料を配布する。</p> <p>参考書：成年身上監護制度論（小賀野晶一）信山社、西洋哲学思想と福祉（関家新助）中央法規出版</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>社会科学的な認識能力を磨くことを念頭に置きつつ、「高齢者福祉の存在意義」を根本から探究できること。そのためにも、講義での疑問について、予習復習を通して発展的に解決していき、関連分野まで俯瞰して社会のあり方そのものをデザインするコンピテンシーが修得できる。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	高齢者の権利擁護活動 基礎1	高齢者を対象とした権利擁護の理論体系を学ぶ。	予習：シラバスを読む。 復習：自分の修士論文のテーマとの関係に関連付ける。
2	高齢者の権利擁護活動 基礎2	高齢者を対象とした権利擁護の類型を学ぶ。	予習：社会福祉原論を読む。 復習：権利擁護を説明できるようにする。
3	高齢者の権利擁護活動 基礎3	高齢者を対象とした権利擁護についての知識を教員と学生同士で討論する。 課題発表	予習：権利擁護活動を調べる。 復習：討論内容をまとめる。
4	高齢者の権利擁護活動 ソーシャルワーク実践1	高齢者を対象とした法制度論体系に関する資料に基づいて権利擁護活動について論究し学修する。	予習：高齢者 SW の概念を調べる 復習：国内外のレポートを探して理解し説明できるようにする。
5	高齢者の権利擁護活動 ソーシャルワーク実践2	高齢者を対象とした権利擁護の法制度論体系とその支援策について資料を基に学修する。	予習：権利法制度体系を調べる。 復習：支援策の実践的活用について理解を深める。
6	高齢者の権利擁護活動 ソーシャルワーク実践3	高齢者を対象とした権利擁護に関する相談支援事例におけるスーパービジョン（SV）の資料を基に学修する。	予習：相談事例を読んでくる。 復習：高齢者 SW の SV の必要性を理解し説明できるようにする。
7	高齢者の権利擁護活動 ソーシャルワーク実践4	法制度論体系について分類整理を行い、資料を基に討論し学修する。 課題発表	予習：制度の法的根拠を調べる。 復習：市民活動も含めて、高齢者支援の体系の理解を深める。
8	高齢者の権利擁護活動 ソーシャルワーク実践5	高齢者を対象とした権利擁護の法制度論体系について、レポート発表を行い、討論し学修する。	予習：法制度体系レポを準備。 復習：グループディスカッションで指摘を受けた点を修正する。
9	高齢者ソーシャルワークの活動理論1	高齢者の生きがいを支援するSWについて討論して学修する。	予習：高齢者 SW 理論を調べる。 復習：高齢者 SW の社会的意義の討論を振り返り理解を深める。
10	高齢者ソーシャルワークの活動理論2	高齢者SWにおけるスーパービジョンについて学修する。また、方法論について討論して学修する。	予習：SV 事例の資料を読む。 復習：テーマの SV 理論について説明できるようにする。
11	生活支援理論	ソーシャルワークの生活支援理論について論究し学修する。	予習：資料を読む。 復習：生活支援論について理解し説明できるようにする。
12	福祉教育理論	ソーシャルワーク理論と福祉教育理論について論究し学ぶ。 課題発表	予習：SW 理論資料を読んでくる。 復習：福祉教育理論について理解し、説明できるようにする。
13	ボランティア活動理論	高齢者SWを踏まえたボランティア活動理論について学ぶ。	予習：ボランティア活動理論を読む。復習：理論を理解し説明できるようにする。
14	高齢者権利擁護のまとめ	高齢者SWに貫徹する歴史的・社会的法則についてまとめて論究し学修する。	予習：資料を読む。 復習：歴史的・社会的法則について理解し説明できるようにする。
15	高齢者ソーシャルワークのまとめ	高齢者ソーシャルワークについてまとめて論究し学習する。	まとめ

